
FUNCTION

クリアシーン	56
採光拡散	57
防カビ	58
花粉キャッチ / 花粉キャッチ抗アレル	59
UVカット / ミラーレース	60
遮光	61
消臭	62
セリスト加工	63
防災	64
ウォッシュャブル	65
遮熱 / 夏ECO	66
保温	67
夏ECO・保温シミュレーション条件	68
オフシェイド	69
防虫	70



室内から外が見えやすく、外からは見えにくい機能カーテン

クリアシーン

白く透けにくい糸と濃色の糸を表と裏で対向させることで室内から外は見やすく、外からは見えにくい相反する効果を持たせています。



外から室内の見え方(写真)

左:ME8571(約2倍ヒダ・スタンダード縫製)
右:ME8597(約2倍ヒダ・スタンダード縫製)

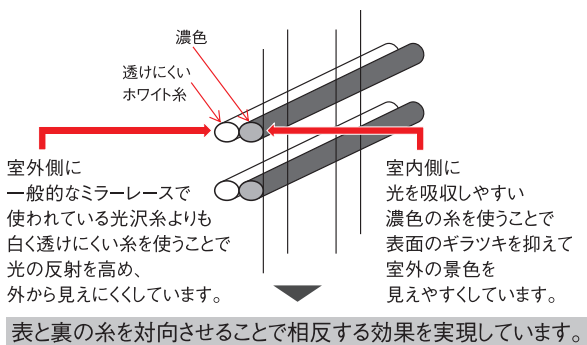
※取り付け環境やスタイルによっては、効果が分かりにくい場合があります。



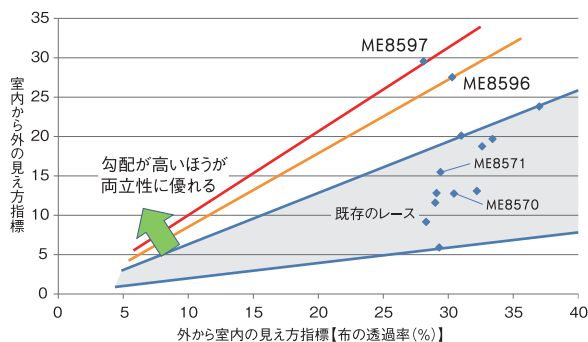
室内から外の見え方(写真)

左:ME8597(約2倍ヒダ・スタンダード縫製)
右:ME8571(約2倍ヒダ・スタンダード縫製)

■ 織・編の構造イメージ



■ 外の見え方と室内の見え方の既存レースとの比較



当社の眺望性計測装置にて計測

特許出願中



特殊な素材を用いることで光の透過性と拡散性を両立させ、室内照度の偏りを軽減する機能

採光拡散

明るさを維持したまま光を広範囲に広がります。

■ 室内空間を柔らかな光でつつみます。

窓面から差し込む光を広範囲に拡散させ、室内の光の偏り(照度差)を軽減します。

採光拡散

「採光拡散」は川島織物セルコンの登録商標です。



採光拡散カーテン



カーテンなし

■ 一般的な薄地カーテンと比べても部屋が暗くなりにくい。

一般的な薄地カーテンでも光を拡散させる効果はありますが、拡散性の高い生地は採光性が低くなる(暗くなる)傾向があります。

採光拡散カーテンは拡散性と採光性を両立させ、明るさを維持しつつ光を拡げます。



採光拡散カーテン

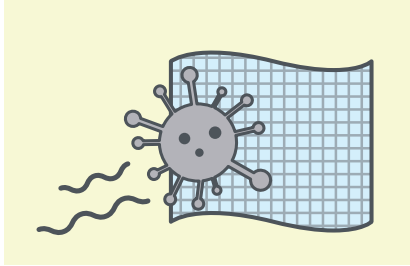


一般的な薄地カーテン

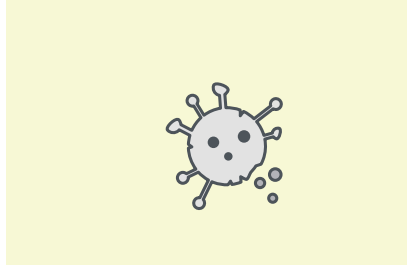
川島織物セルコン独自の透過性・拡散性評価方法に基づき測定・算出する「採光拡散値」を、窓から入る光の広がり(の指標)としました。糸のタイプや織組織を工夫し、採光拡散値が一定基準を満たすものに、『採光拡散』を表示しています。(特許出願中)

防カビ

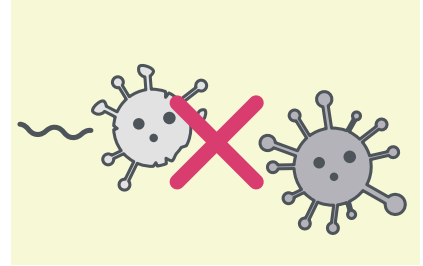
カビの生育を抑制するメカニズム（イメージ）



空気中の浮遊菌がカーテン上の薬剤に触れると…



菌の最も外側の細胞壁が破壊されて生育できない状態になり、その間、同種菌に対し危険信号を送ります。



危険信号が伝達された同種菌は近寄らなくなりカビの生育が抑制されます。

非流出系で耐性菌ができにくい薬剤を使用しているため、効果の持続が期待できます。

（忌避効果を兼ね備えたメカニズムによって、耐性菌ができる可能性を低くします。）

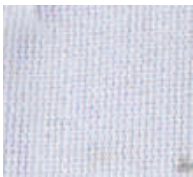
■ カビ抵抗性試験

試験菌:住宅環境において検出頻度の高いクロカビ系やアオカビ系の約10種の真菌を使用。

温度:28~30℃ 湿度:85%RH以上 期間:28日間 培地:無機塩寒天培地

写真はカビを28日間培養させた後の様子

防カビ加工品



カビの生育は一部のみ

通常品



生地全体にカビが生育

通常品の場合は、生地全体にカビの生育が見られますが、防カビ加工品の場合は、カビの生育が抑制されているのが分かります。

左記試験は一定の条件下での効果を確認したものです。あらゆる条件下での性能を保証するものではありません。

■ 加工薬剤の安全性

	加工剤の安全性データ	SEK基準(参考)
急性経口毒性試験(LD50)	≧2,000mg/kg	≧2,000mg/kg
皮膚刺激性試験	P.I.I.=0(刺激性なし)	P.I.I.<2.0
皮膚感作性試験	陰性	陰性
変異原性試験(Ames試験)	陰性	陰性

■ 防カビ加工品に関するご注意

カビの生育抑制効果が期待できるのは、生地上に限ります。病気の治療や予防の効果はありません。また、すべてのカビを死滅させるものではありません。高温・多湿、栄養分(汚れ等)がある環境下では、カビが発生する場合があります。試験菌以外のカビでは効果の有無は確認できておりません。



浮遊する花粉やホコリをカーテン表面に付着させ、室内空間の清浄化に役立てます

花粉キャッチ

花粉キャッチの機能の効果は特殊な繊維構造



■ 帝人フロンティア(株)が開発したポリエステル原糸「FCOT®」は繊維にクリンプ(縮れ)があり、花粉やホコリ等をキャッチしやすい繊維構造となっています。



電顕写真

空气中に漂う花粉をキャッチするポリエステル原糸「FCOT®」
「FCOT®」は帝人フロンティア(株)の登録商標です。

一般的なカーテン(レギュラーポリエステル100%)よりも、
多くの花粉をキャッチします。

洗濯で花粉除去。機能はそのまま持続します。

■ キャッチした花粉をご家庭で簡単に洗濯できキレイに除去できます。
また繊維の構造そのものが花粉キャッチ効果を果たすので洗濯を繰り返しても機能を維持します。

<花粉付着性比較>

	①花粉付着直後	②洗濯後
花粉キャッチカーテン FT6711		
花粉	302個	0個
通常のカーテン		
花粉	202個	0個

◇試験方法

- ①石松子(ヒゲノカズラの胞子)を0.5gを一定条件下にてエアブラシを用いて吹きつけを実施した。
- ②①の直後家庭用洗濯機にて洗濯を実施、その後花粉の個数を測定。
※左記写真は一定条件下での結果であり、あらゆる環境下で性能を保証するものではありません。

■花粉キャッチ商品対応品番

	ME8588 ME8589 ME8590
--	----------------------

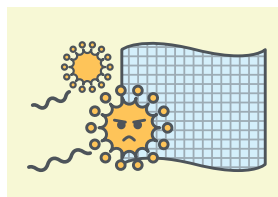


室内に浮遊するハウスダスト(花粉など)をキャッチしやすく、抗アレルギー物質加工を施したダブル効果の商品です

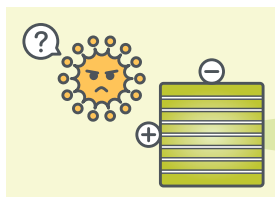
花粉キャッチ抗アレルギー



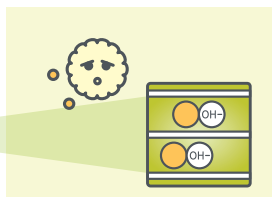
ハウスダスト中の有害因子を除去するメカニズム (イメージ)



花粉等のハウスダストがカーテンに付着すると...



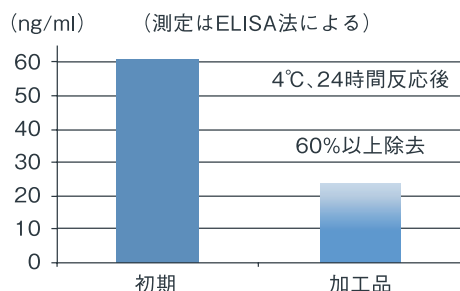
天然鉱物由来の層状物質が持つ電荷により有害因子を吸着。



有害因子の蛋白質と、層間に存在する水酸基(OH-)が結合して除去します。

花粉などに含まれる有害因子の除去効果が期待できるのは生地上に限ります。また、人体に対する効果・効能を期待するものではありません。

スギ花粉に含まれる物質(Cry j 1) 残存量



ハウスダスト因子除去性評価
ELISA法(酵素免疫測定法)
残存量 (ng/ml)

左記試験結果は一定条件下のものであり保証値ではありません。

ELISA法(酵素免疫測定法)とは・・・
抗原抗体反応を利用した、花粉などに含まれる抗原量を定量化する方法

試験機関: ニチニチ製薬株式会社

■花粉キャッチ抗アレルギー商品対応品番

	ME8589
--	--------



紫外線の透過を抑え、家具や室内の日焼けによる劣化や変色を防ぎます

UVカット

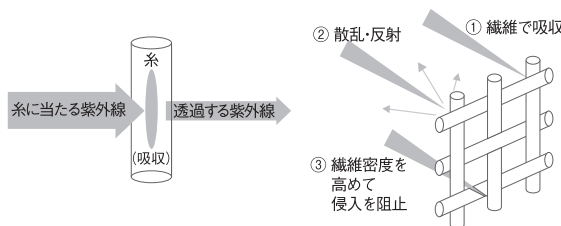
一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会が定める基準を満たしたレース製品に、UVカットマークの表示をしています。

- ① 表示基準 紫外線の透過率を低減し、家具や床材の日焼け退色を防ぐ加工を施したシアーカーテン、布製ブラインド類の内、紫外線遮蔽率が③の判定基準に適合する製品に表示できる。
- ② 試験方法 紫外線カット素材の加工効果統一評価法(日本化学繊維協会)による分光光度計・全波長域平均法波長280～400nmの紫外線をどれだけ遮蔽しているかを「紫外線遮蔽率」で表す。
- ③ 判定基準 次の判定基準に合格するものを適合品とする。

項目	判定基準
紫外線遮蔽率	70%以上

UVカットのメカニズム

- ①糸に当たる紫外線を糸自体が吸収する。
- ②糸に当たる紫外線を散乱・反射させる。ミラーレースなどの様に、光沢のある糸を裏面に用いて、散乱・反射の効果を高めたものもある。
- ③生地目の目(隙間)を詰めて、紫外線を透過しにくくする。



UV カット商品対応品番



ME8533 ME8534 ME8535 ME8536 ME8543 ME8544 ME8547 ME8549 ME8550 ME8552 ME8553 ME8555
 ME8556 ME8557 ME8558 ME8560 ME8561 ME8565 ME8578 ME8579 ME8582 ME8584 ME8586 ME8588
 ME8589 ME8590 ME8595



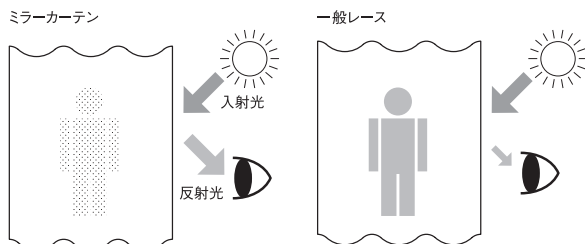
カーテンの裏面にブライト糸を使用した機能カーテン

ミラーレース

光の反射機能を持たせることにより、日中の戸外から屋内への見えにくさを向上させ、赤外線による室温の上昇を抑え、紫外線による室内の日焼けを防ぐ効果などを持たせています。

■ ハーフミラー効果によるプライバシー保護

カーテン裏面にブライト糸を使用することで、昼間外から見る人の目にはいるカーテンの反射光が増加し、部屋の中が見えにくくなります。

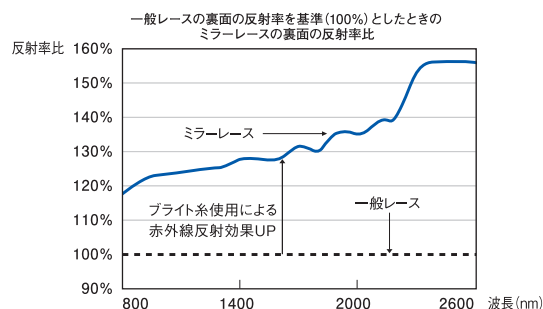


一般レースより室内が見えにくい

※取り付け環境やスタイル等によっては、効果が分かりにくい場合があります。

■ 遮熱効果

ミラーレースカーテンは一般レースカーテンよりも赤外線の反射率が高いため、遮熱に対して効果があります。



※このグラフは参考値であり、すべての環境下での遮熱効果を保証するものではありません。

測定生地：[一般レース] [ミラーレース]
 測定機器：自記分光光度計 島津製作所製UV3150(積分球使用)
 測定範囲：800～2600nm
 ミラーレースは一般レースに比べて、赤外線波長域(800～2600nm)の反射率が平均約1.35倍。(生地により違いはあります)



強い光をしっかりとカットする遮光カーテン

遮光

織組織や糸などにより遮光性能をもたせ、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)の定めた等級区分に従って表示しています。等級およびその状態表現を参考に、お望みの商品をお選びください。

■ NIF遮光マーク判定基準

遮光等級	遮光率(%) JIS L 1055 A法10万ルクス	照度に関する状態表現
遮光1級	99.99%以上	人の顔の表情が識別できないレベル
遮光2級	99.80%以上 99.99%未満	人の顔あるいは表情がわかるレベル
遮光3級	99.40%以上 99.80%未満	人の表情はわかるが事務作業には暗いレベル

※遮光率は、小数点第三位を四捨五入した数値を表示しています。
 ※上記遮光等級は、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)の基準に基づいています。
 なお、各遮光率と状態表現の関連性については、照明学会編「ライティングハンドブック」に基づいています。

■ 遮光カーテンについて

- カーテンは機能上、窓との間にある程度の間隔が必要です。そのため、カーテンの上部、下部、サイドから光が漏れます。遮光効果をできるだけ発揮させるためには、カーテンボックスを使用し、サイドをリターン式にし、丈も床に充分つく長さにしてください。この際、カーテンボックスに上飾りを用いれば、さらに効果がアップします。尚、両開きカーテンには交叉レールの使用をおすすめします。
- 本遮光率は生地での遮光率を表すものであり、ローマンシェードの場合は、窓に対する生地の高さや本体の取付け方法によって、室内の照度は変動しますのでご注意ください。
- 同じ等級でも遮光率により差があります。事前に商品の確認をおすすめします。

■ 遮光商品対応品番

	ME8288 ME8292 ME8342 ME8343 ME8349 ME8385 ME8386 ME8387 ME8392 ME8398 ME8406 ME8409 ME8410 ME8415 ME8424 ME8425
	ME8287 ME8289 ME8290 ME8291 ME8293 ME8294 ME8295 ME8296 ME8302 ME8303 ME8305 ME8306 ME8307 ME8308 ME8309 ME8313 ME8314 ME8315 ME8316 ME8318 ME8319 ME8321 ME8322 ME8323 ME8324 ME8325 ME8326 ME8328 ME8330 ME8333 ME8340 ME8341 ME8347 ME8348 ME8350 ME8351 ME8353 ME8356 ME8358 ME8359 ME8362 ME8363 ME8364 ME8365 ME8367 ME8370 ME8375 ME8376 ME8378 ME8379 ME8381 ME8382 ME8384 ME8393 ME8395 ME8396 ME8397 ME8403 ME8407 ME8411 ME8412 ME8413 ME8414 ME8417 ME8418 ME8419 ME8420 ME8421 ME8422 ME8423

■ 遮光1級の区分表記が統一されました

表記	目視度合 (イメージ)	状態説明	対応品番
遮光1級 (A++)		生地からほとんど光を感じません。	—
遮光1級 (A+)		生地からわずかに光を感じます。	—
遮光1級 (A)		生地から光が漏れるが、生地の織り組織や色は分かりません。	ME8386 ME8387
遮光1級 (B)		生地から光が漏れ、生地の織り組織や色が分かります。	ME8292 ME8342 ME8343 ME8415 ME8425
遮光1級 (C)		生地全体は薄明るく見えるが、人の表情が識別できない暗さです。	ME8288 ME8349 ME8385 ME8392 ME8398 ME8406 ME8409 ME8410 ME8424

NIF機能性表示マークの一つである「遮光マーク」は、照度計を用いたカーテンの遮光性試験方法 (JIS L 1055) により、遮光率99.40%以上のカーテンや布製ブラインドに表示することができます。中でも遮光率99.99%以上の遮光1級は「人の表情が識別できないレベル」の暗さを担保しています。一方、人の視覚は非常に敏感で、かすかな光も捉えることができます。NIFではお客様が期待する暗さ「一本当に真っ暗」のイメージにより近づけるため、「目視による明暗を指標」とする遮光カーテンの遮光性評価方法 (特許第5437308号) に基づき遮光1級の区分表記をしております。
 ※NIFは(一社)日本インテリアファブリックス協会の略称です。

◇遮光カーテンの遮光性評価方法 (特許 第 5437308 号)

暗室内の電照パネル上に遮光1級のカーテンなどの試験体をかざし、全体的な光の透過の見え方、光漏れの有無や多寡を目視で判定し、光を遮蔽する度合により区分します。



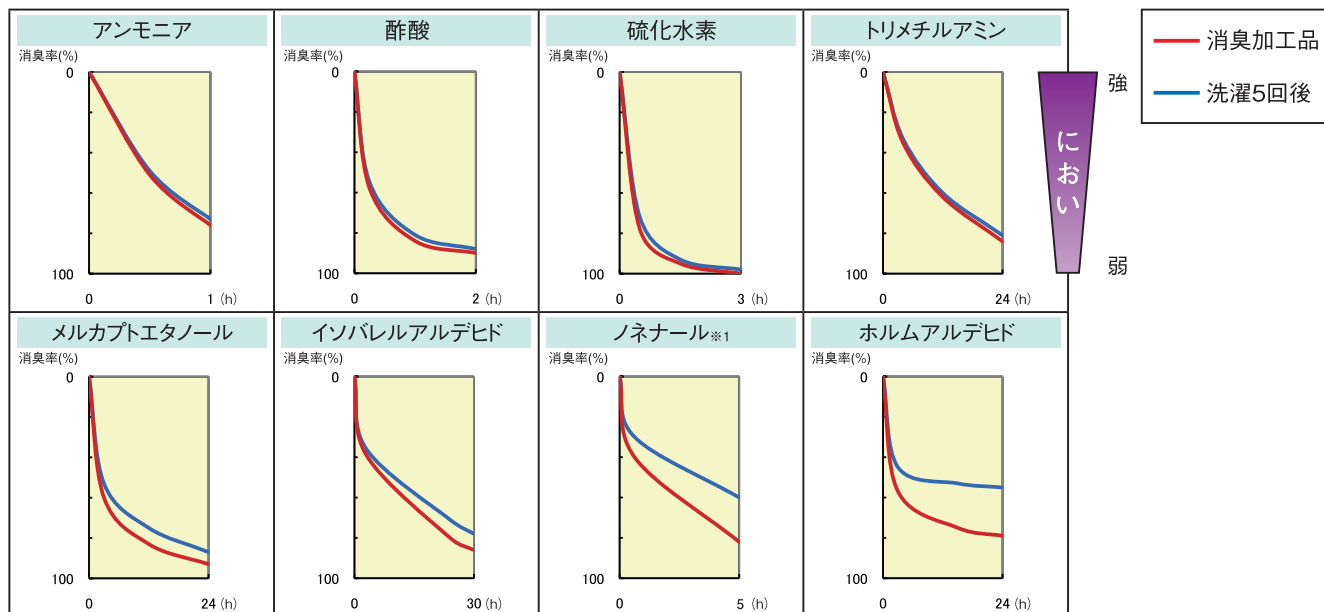
消臭

繊維上の消臭成分がニオイの元となる物質をキャッチ。快適な室内空間の創造にお役立てください。



生活臭・ペット臭対応消臭機能

ペット臭に限らず広く様々な不快臭に含まれるアンモニアや硫化水素に対し高い効果を発揮し、また洗濯に対しても優れた耐久性のある消臭機能です。ペット臭に含まれる特徴的な臭気成分のイソバレルアルデヒドやメルカプトエタノール、酢酸のほかに、ホルムアルデヒドなどのVOCにも効果があります。



試験方法

悪臭成分・空気の混合ガスと試料をにおい袋(ポリエステル製)に入れ、悪臭成分濃度の経時変化を検知管法により測定する。

$$\text{消臭率 (\%)} = \frac{\text{悪臭成分・空気の混合ガス注入直後の濃度} - \text{所定時間後の濃度}}{\text{悪臭成分・空気の混合ガス注入直後の濃度}} \times 100$$

※データは当社独自の実験結果にもとづくものであり、保証値ではありません。

※1 ノネナールのデータは検知管ではなくガスクロマトグラフィーで消臭率を算出しています。

【ニオイを構成する主な物質】

ニオイを構成する主な臭気成分・特徴	含まれる不快臭 (代表的なもの)	含まれる不快臭 (代表的なもの)						
		生ゴミ臭	排泄臭	ペット臭	汗臭	加齢臭	タバコ臭	VOC
アンモニア	し尿臭							
酢酸	すっぱいニオイ							
硫化水素	腐った卵のようなニオイ							
トリメチルアミン	腐った魚のようなニオイ							
メルカプトエタノール※2	猫の尿等に含まれるニオイ							
イソバレルアルデヒド	犬の体臭等に含まれるニオイ							
ノネナール	青くさい、脂くさいニオイ							
ホルムアルデヒド	VOCの代表的成分							

※2 猫の尿に含まれるフェロモンと化学的性質が類似したニオイ物質。

"ニオイ"について

私たちの生活空間にはニオイの元がたくさんあります。ヒトやペットから出るニオイ、食べ物から出るニオイ、ゴミやトイレのニオイ、などなど…。不快を感じる臭気質の総称を「悪臭」と呼びますが、その悪臭となるニオイの元は様々な物質の「複合臭」である場合がほとんどです。ヒトがニオイを感じる嗅覚は、個人差が大きく感じ方はマチマチです。また、順応性が高いとも言われ、「慣れ」によりあまりニオイを感じなくなったりもします。加齢による衰えもあり、ニオイに関して定量的に評価することは非常に難しいと言われています。また、室内に強いニオイの発生源があったり、室外から絶えずニオイが侵入してくるような場合は、なかなかニオイを無くすことはできません。



繊維上の特定のウイルスに効果を発揮する

セルリスト加工

サステナブルテクノロジーである光触媒技術をカーテンに応用しました。自然光のエネルギーを利用して室内空気環境の浄化に貢献します。

■ セルリスト機能

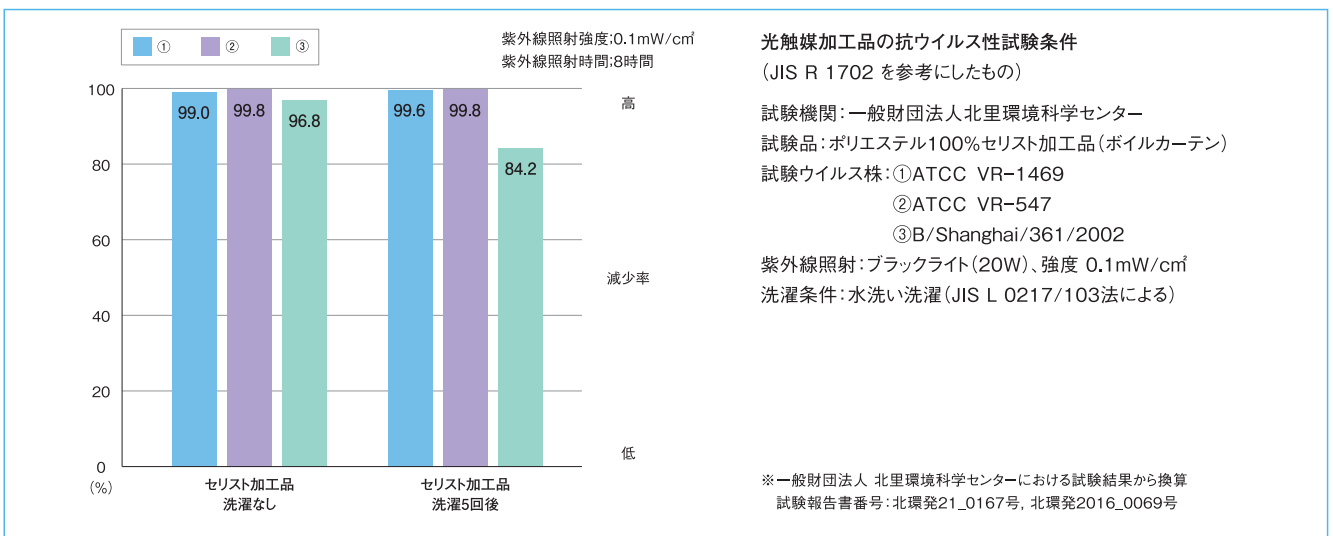


繊維上の特定のウイルスの数を減らす効果があることを確認しています。

アンモニア・硫化水素・アセトアルデヒド等、悪臭原因物質を分解する機能を持っています。

ホルムアルデヒド・トルエン等、VOC(揮発性有機化合物)を分解する機能を持っています。

■ 繊維上の試験ウイルス量の減少率



⚠

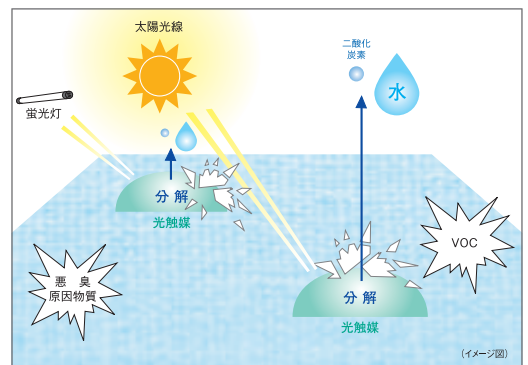
- ・上記試験結果は特定の条件下でのものであり、あらゆる環境においての性能を保証するものではありません。
- ・また、各種機能は生地上でのみ発現するものであり、空气中に浮遊するものにまで効果がおよぶものではありません。
- ・セルリスト加工は、病気の治療や予防を目的とはしておらず、ウイルスの動きを抑制するものでもありません。

■ セルリスト加工剤・光触媒(酸化チタン)の安全性

光触媒として使われる酸化チタンは、アメリカでは1968年、日本では1983年に食品添加物としても認定されるなど、広く食品や化粧品などにも利用されている物質です。

■ セルリスト加工を施したファブリックが有機物を分解するしくみ

- 1.光触媒に光(紫外線)が当たると、近くにある酸素や水が非常に反応性の高い物質に変わり、接触する悪臭成分、VOC、細菌などを最終的には二酸化炭素(CO₂)や水(H₂O)などに分解します。
- 2.このようにして生地上の悪臭成分やVOC、細菌などは減少し、きれいになっていきます。光触媒自体は変化しないので機能が持続します。





防災

消防法に位置づけられた「防災規制」では、燃えにくい性質を「防災性能」といい、消防法に定められた防災性能基準の条件を満たしたものを「防災物品」と呼んでいます。

高層マンションや不特定多数の人が出入りする防火対象物では、火災が発生した場合に人命危険に至る可能性が大きいことから、消防法で防災物品の使用が義務付けられています。

防災物品を使用しなければならない防火対象物

1 消防法で指定されたもの（消防法第8条の3第1項）

高層建築物（高さ31mを超える建築物）、地下街

2 政令で指定されたもの（消防法施行令第4条の3）

(1)	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場
	ロ	公会堂または集会場
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの
	ロ	遊技場またはダンスホール
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗（二並びに（1）項イ、（4）項（5）項イ及び（9）項イに掲げる防火対象物の用途に供されているものを除く。）その他これに類するものとして総務省令で定めるもの
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの
	ロ	飲食店
(4)		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの
(6)	イ	病院、診療所または助産所
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。）、介護老人保健施設、救護施設、乳児院、障害児入所施設、障害者支援施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものに限る。）、老人福祉法（昭和38年法律第133号）第5条の2第4項若しくは第6項に規定する老人短期入所事業若しくは認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設又は障害者自立支援法（平成17年法律第123号）第5条第8項若しくは第10項に規定する短期入所若しくは共同生活介護を行う施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものに限る。ハにおいて「短期入所等施設」という。）
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム（主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。）、更正施設、助産施設、保育所、児童養護施設、児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、身体障害者福祉センター、障害者支援施設（主として障害の程度が重い者を入所させるものを除く。）、地域活動支援センター、福祉ホーム、老人福祉法第5条の2第3項若しくは第5項に規定する老人デイサービス事業若しくは小規模多機能型居宅介護事業を行う施設、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条の2第2項若しくは第4項に規定する児童発達支援若しくは放課後等デイサービスを行う施設（児童発達支援センターを除く。）又は障害者自立支援法第5条第7項、第8項、第10項若しくは第13項から第16項までに規定する生活介護、短期入所、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援若しくは共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く。）
	ニ	幼稚園または特別支援学校
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの
(12)	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が（1）項から（4）項まで、（5）項イ、（6）項、（9）項イ又は（12）項ロに掲げる防火対象物の用途に供されているもの
(16の3)		建築物の地階（（16の2）項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの（（1）項から（4）項まで、（5）項イ、（6）項又は（9）項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）

防災物品の種類と防災ラベル

防災物品の種類	物品ラベルの様式	材料ラベルの様式	
カーテン・暗幕	水洗い洗濯及びドライクリーニングについての基準に適合するもの	(イ)縫付	 下げ札またはちょう付 カーテンなどの原反に付けられているもので、物品ラベルと同様に耐洗濯性の表記がされています。
	水洗い洗濯についての基準に適合するもの	(ロ)縫付	
	ドライクリーニングの基準に適合するもの	(ハ)縫付	
	洗濯後は再防災処理の必要があるもの	(ニ)ちょう付	
どん帳・舞台幕	ちょう付け		

※防災表示は消防庁長官によって「登録表示者」として登録された業者に限られています。
 ※防災対象物ごとに、縫付、ちょう付、下げ札等の方法で見やすい箇所に取り付けることになっています。
 ※消臭剤、芳香剤、スプレー等は防災性能を阻害するおそれがあります。



ご家庭で手軽に洗濯ができるウォッシュャブルカーテン

ウォッシュャブル

当社では、多くのウォッシュャブルカーテンを商品化し、お客様の家庭で洗濯したいというご要望にお応えしてきました。本見本帳では、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)の基準に適合した商品にウォッシュャブルカーテンとして、統一マークをつけて選びやすくしています。

NIFウォッシュャブルマーク判定基準(カーテン) ※2016年9月16日現在

試験項目	試験方法	判定基準
寸法変化率	JIS L 1930 C4M法(つり干し)による洗濯・乾燥の繰り返し5回後の寸法変化率を測定する	タテ±1%以内 ヨコ±2%以内
染色堅ろう度	JIS L 0844 A-2号に基づき試験評価する	変退色4級以上 汚染4級以上
外観	JIS L 1930 C4M法(つり干し)による洗濯・乾燥の繰り返し5回後の外観を目視で判定する	外観が良好であること

NIF:一般社団法人日本インテリアファブリックス協会 <http://www.nif.or.jp>
ウォッシュャブルの基準は一般社団法人日本インテリアファブリックス協会で制定されたものです。
注:洗濯の仕方により表示以上の寸法変化が起こる場合があります。
「洗濯に際してのご注意」をよくお読みいただきますようお願いいたします。

■ 洗濯に際してのご注意

- ・ホコリをよく払って、フックを全部取り外してください。
- ・予洗されることをお勧めします。
- ・一度にお洗濯するカーテンの枚数は1~2枚までとし、あまり多く詰め込むことは避けてください。
- ・洗濯用ネットのご使用をお勧めします。
- ・水量は「最大」にします。
- ・水流は「弱」にします。
- ・水温は40℃以下で行います。
- ・洗剤は市販の中性洗剤、または弱アルカリ洗剤をご使用ください。
- ・ご使用の洗剤に記載されている使用方法を参考にしてください。
- ・洗剤が残らないよう、充分にすすいでください。
- ・脱水は短時間(20~30秒)でおかけください。かけすぎるとシワや型くずれの原因となります。
- ・横型ドラム式洗濯の場合は取扱い説明書をご確認ください。

■ 乾燥方法について

- ・カーテンを吊っていた元のレールに戻し、吊ってそのまま自然に乾燥させるのが最適な方法です。その際、水滴で濡れないよう、床にタオルや新聞紙を敷いてください。
- ・屋外で干す場合は必ず陰干しにしてください。
- ・レールに吊った後、全体を軽く下に引っ張り、寸法を合わせます。更に全面を手で叩くと、乾いた時にある程度シワを防止できます。
- ・乾燥機の使用は縮みの原因となりますので、お避けください。

取扱い表示ラベルの番号が[K501][K511][K521][K522][K523]の商品は形態安定加工を行っています。
洗濯後はカーテンレールにかけた状態で、ヒダを整え乾かすようにしてください。(アイロン不可、スチーム不可、乾燥機使用禁止)
シワが目立つ場合は、スチームなしでごく低温(110℃以下)のアイロンを手早くお掛けください。但し、低温であっても一箇所に長くアイロンを掛けるなどすると、場合によってはウェーブ加工を損ないますので十分ご注意ください。
※形態安定加工のため、出荷時に高さ調整をアジャストフックで行う場合があります。

■ ウォッシュャブルカーテンの縫製について

- ・ウォッシュャブル機能をもつカーテン生地は縫製には、ポリエステル製織物芯地および縫糸のご使用をお願いします。
- ・フリンジ、トリム、裏地、ウエイト等を縫いつける場合は、ウォッシュャブル機能が損なわれる場合があります。付属品の洗濯条件に充分注意してください。

■ 寸法変化率について

取扱い表示にあたり、下記の試験方法で寸法変化率の試験を実施しております。
判定基準値はいずれもタテ±1%、ヨコ±2%です。

記号	寸法変化率の試験方法	判定基準値
	JIS L 0217 103法 5回洗い もしくは JIS L 1930 C4M法 5回洗い	タテ±1% ヨコ±2%
	JIS L 0217 106法 もしくは JIS L 1930 C4H法	
	JIS L 1096 J-1法 もしくは JIS L 1096 J-2法	

■ 取扱い表示の見方

JIS L 0001(繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法)より

洗 い 方		液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
		液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
		洗濯処理はできない。
漂 白		酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
		漂白処理はできない。
		洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。
乾 燥 (干 し 方)		つり干し乾燥がよい。

アイ ロ ン の 掛 け 方		底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
		底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
		アイロン仕上げ処理はできない。
商 業 ク リ ー ン グ		石油系溶剤(蒸留温度150℃~210℃、引火点38℃~)での弱いドライクリーニング処理ができる。
		ドライクリーニング処理ができない。
		弱いウエットクリーニング処理ができる。
		非常に弱いウエットクリーニング処理ができる。
		ウエットクリーニング処理はできない。



遮熱

遮熱マークとは

一般の薄地と比較して、遮熱効果が認められ、一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)に定められた『カケンレフランプ法』の判定基準に適合する薄地カーテンに表示することが可能なマークです。

■ カケンレフランプ法

- 1.熱線受光体の約5mm上に試験体を保持し更にその上約5mmにガラス板を設置し試験体とする。
- 2.指定側面からランプ(100V500W)を約50cmの距離で15分間照射して熱線受光体の表面温度をサーモカメラを用いて経時的に測定する。
- 3.試験は試験体とブランクの位置を入れ替えて2回測定し、平均値を試験結果とする。
- 4.ブランクとして試験片なしの試験体を対角線上に設置し、同時に測定を行い遮熱率を算出する。

判定基準

項目	判定基準
遮熱率	25%以上(小数点第1位四捨五入)
遮光率	99.4%未満(採光率0.6%以上)

$$\text{遮熱率(\%)} = \frac{(\text{ブランク上昇温度} - \text{試料の上昇温度})}{\text{ブランク上昇温度}} \times 100$$

夏ECO 室温上昇を抑える薄地カーテンの遮熱性能を5段階のランクで表示

30%以上
ランクSA

夏ECO

各効果は、シミュレーションプログラム(P.66参照)によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

ボイルやレースなどの薄地カーテンは太陽光による室温上昇を緩和し、夏の冷房効率を高め、省エネルギーにも役立ちます。明るさを取り入れつつ、遮熱効果を高めたい場合の目安としてご活用ください。

■ 夏ECOランク

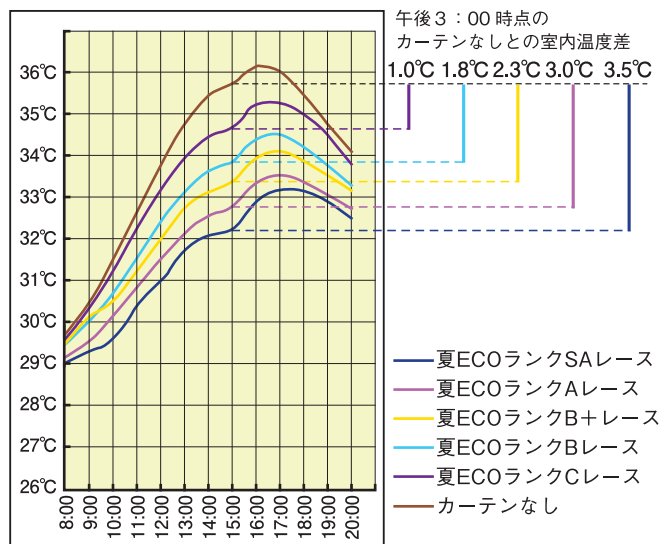
ランク	夏ECO 30%以上 ランクSA	夏ECO 25%以上 ランクA	夏ECO 20%以上 ランクB+	夏ECO 15%以上 ランクB	夏ECO 15%未満 ランクC
省エネルギー効果	低減効果 30%以上	25%以上	20%以上	15%以上	15%未満
カーテンなしとの比較	消費電力量 -134 kWh	-109 kWh	-91 kWh	-71 kWh	-40 kWh
	電気料金 -3,618 円	-2,943 円	-2,457 円	-1,917 円	-1,080 円
	CO ₂ 排出量 -50 kg	-41 kg	-34 kg	-26 kg	-15 kg

カーテンなしの場合

消費電力量：405kWh 電気料金：10,935円 CO₂排出量：151kg

※電気料金は、2014年度 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による電力単価にて計算

■ 温度差シミュレーション



保温
20%
以上
ランクSA

暖房効率を高めるドレープカーテンの保温性能

保温

各効果は、シミュレーションプログラム(P.66参照)によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

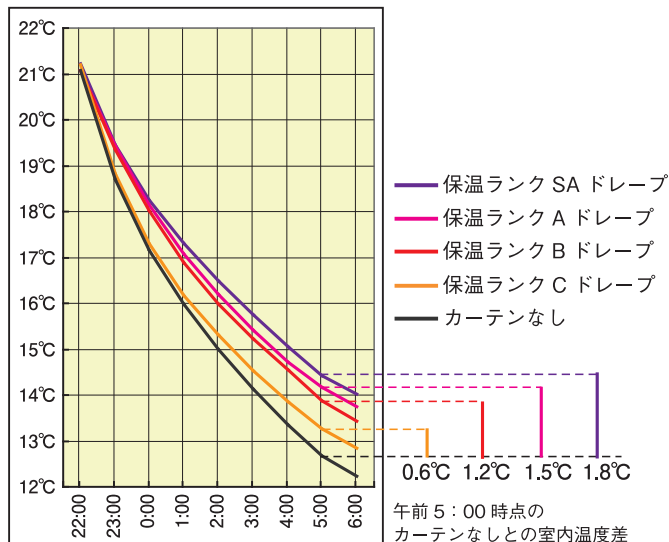
窓にドレープカーテンをかけることにより、開口部からの熱の出入りを抑制し、暖房効率を上げて省エネルギー効果を高めます。ご使用状況に照らし、カーテン選定の目安としてご活用ください。

■ 保温ランク

ランク	保温 20% 以上 ランクSA	保温 15% 以上 ランクA	保温 10% 以上 ランクB	保温 10% 未満 ランクC	
省エネ 効果 の 比較	低減効果	20% 以上	15% 以上	10% 以上	10% 未満
	消費電力量	-97 kWh	-83 kWh	-68 kWh	-34 kWh
	電気料金	-2,619 円	-2,241 円	-1,836 円	-918 円
	CO ₂ 排出量	-36 kg	-31 kg	-26 kg	-13 kg

カーテンなしの場合
消費電力量：488kWh 電気料金：13,176円 CO₂排出量：182kg
※電気料金は、2014年度 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による電力単価にて計算

■ 温度差シミュレーション



■ 保温ランクSA・A品番一覧

保温 20% 以上 ランクSA	ME8023 ME8024											
保温 15% 以上 ランクA	ME8012	ME8013	ME8014	ME8015	ME8017	ME8018	ME8019	ME8020	ME8029	ME8030	ME8033	ME8034
	ME8078	ME8079	ME8080	ME8141	ME8142	ME8145	ME8146	ME8185	ME8186	ME8199	ME8200	ME8232
	ME8233	ME8234	ME8320	ME8321	ME8324	ME8325	ME8326	ME8334	ME8335	ME8336	ME8374	ME8375
	ME8376	ME8420	ME8421	ME8422	ME8423	ME8424	ME8425					

ドレープカーテンに裏地をつけると保温効果がワンランクUP

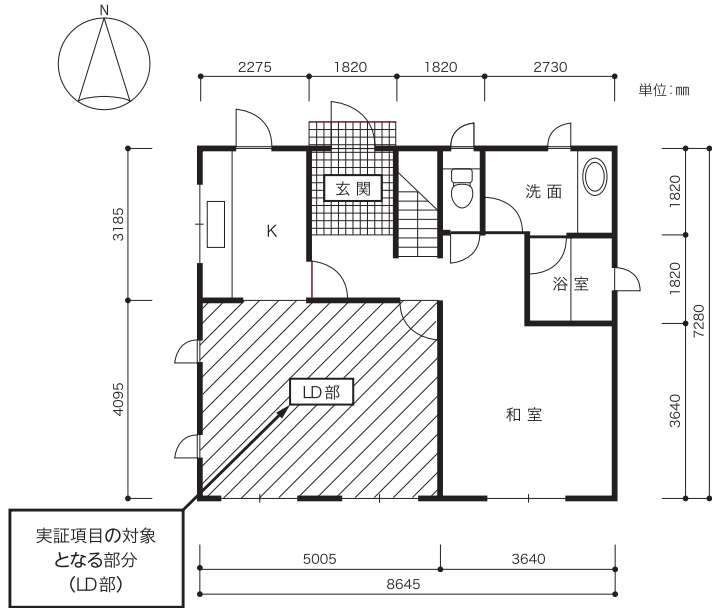
ドレープカーテンを単体でかけることでも保温効果がありますが、裏地をあわせることで空気層ができ、さらに効果が上がります。

ランク	保温 20% 以上 ランクSA	保温 20% 以上 ランクSA +裏地	保温 15% 以上 ランクA	保温 15% 以上 ランクA +裏地	保温 10% 以上 ランクB	保温 10% 以上 ランクB +裏地	保温 10% 未満 ランクC	保温 10% 未満 ランクC +裏地
省エネ 効果 の 比較	低減効果 20%以上	23%以上	低減効果 15%以上	20%以上	低減効果 10%以上	15%以上	低減効果 10%未満	10%以上
	消費電力量 -97kWh	-112kWh	消費電力量 -83kWh	-97kWh	消費電力量 -68kWh	-83kWh	消費電力量 -34kWh	-68kWh
	電気料金 -2,619円	-3,024円	電気料金 -2,241円	-2,619円	電気料金 -1,836円	-2,241円	電気料金 -918円	-1,836円
	CO ₂ 排出量 -36kg	-42kg	CO ₂ 排出量 -31kg	-36kg	CO ₂ 排出量 -26kg	-31kg	CO ₂ 排出量 -13kg	-26kg
	ランク SA	低減効果 3%UP	ランク A	ランク SA 同等	ランク B	ランク A 同等	ランク C	ランク B 同等

※シミュレーションプログラム (P.66参照) によって算出された数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

夏ECO・保温シミュレーション条件

木造一戸建住宅(2階建)の1階LD部の想定



電気料金単価	27円/kWh (2014年 公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会による単価)
暖房・冷房設定温度	暖房: 20°C / 冷房: 27°C
CO ₂ 排出量	0.37kg/kWh
暖房・冷房稼働期間	暖房: 11月11日~4月17日 / 冷房: 6月16日~9月11日
暖房・冷房稼働時間	6時~9時、12時~14時、16時~22時
地域	東京
気象データ	1990年代標準気象データ
住宅モデル	日本建築学会熱シンポジウムで提案された住宅標準問題を参照
延べ床面積	125.9㎡
実証対象となる部分	1階LD部
床面積	20.5㎡
窓面積	6.6㎡
温度変化抑制効果	部屋の気温差を稼働期間で平均した値 (エアコン未使用) 冬季: AM5:00時点 / 夏季: PM3:00時点
COP	3

※COP(エネルギー消費効率): エアコンの性能を表す指数で大きいほど省エネ効果が高い。

一般財団法人建材試験センターにて非定常多数室熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」を用いてシミュレーションを行っています。











ボイル・レースの透過性をお好みに合わせて4つのクラスから選べる

オフシェイド

ボイルやレースなどの薄地カーテンは、調光性や半透明性といった性質を持っていますが、屋外からの見え方も気になります。川島織物セルコンでは、日中における薄地カーテン使用時のプライバシーをどの程度保護しているか、4段階のオフシェイドクラスとして示しています(下記写真)。なお、プライバシー保護の程度は、室内の明るさ(室内照度)と屋外の明るさ(屋外照度)のバランスによって大きく変わります。

■ 透過性商品評価 オフシェイド効果のクラス分け

参考透過率の%が低い表示ほど透過性が低く、プライバシー保護機能に優れることを示しています。

クラス	 クラス 1 オフシェイド 部屋に人がいるのがわからない	 クラス 2 オフシェイド わずかに人の気配が感じられる
		
参考透過率	~約20%	~約30%
クラス	 クラス 3 オフシェイド 人の輪郭が見える	 クラス 4 オフシェイド 顔の表情や人の動作がわかる
		
参考透過率	~約50%	約50%~

オフシェイドクラスの判定方法

「カーテンの遮光性試験方法(JIS L 1055 A法1万ルクス)」における透過照度から算出される透過率を参考にしています。

$$\text{透過率(\%)} = [\text{透過照度(ルクス)} / 10,000(\text{ルクス})] \times 100$$

(参考:遮光率は100-透過率(%))

生地のもも透過性の高い部分の透過率を参考透過率として採用しています。

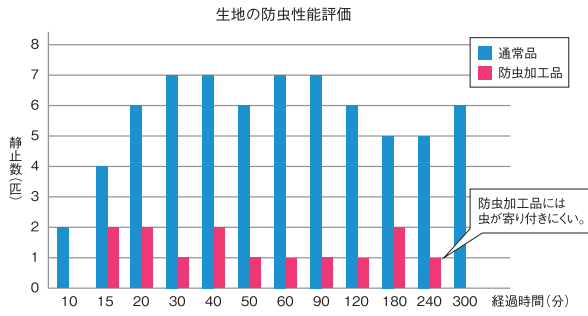
透過率は測定する部位によって大きく異なる商品もございますので、あらかじめご了承ください。



繊維に虫を寄せ付けにくい特殊加工をすることで防虫効果を発揮します

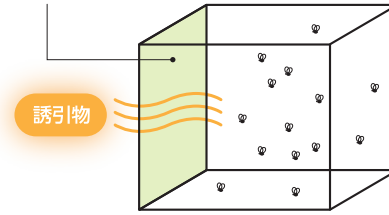
防虫

防虫



上記は当社独自の試験結果であり、特定条件下での生地の防虫効果を確認したものにすぎません。あらゆる環境下、すべての虫に対して、同様の効果を保証するものではありません。また、この結果をもって人体に対する効果・効能を保証するものでもありません。

カーテン生地



試験用ゲージ(25cm×25cm×25cm)

試験概略図

試料(レースカーテン生地)越しに誘引物のあるゲージの中に、ヒトスジシマカの雌成虫20匹を放ち、時間経過毎に生地に静止した数を調べた。
(試験環境:25±1℃、湿度70±10%)